

エッセイ

私の人生

徳増 公明

2. ファイサル国王賞受賞

この度、日本ムスリム協会がサウジアラビアのファイサル国王賞を受賞した。それを記念して協会は、2024年11月30日（土）10:00～16:00、渋谷区代々木上原駅近くの東京ジャーミイにてファイサル国王賞記念祝賀会を開催、約120名が出席した。そして、この受賞を紹介する機会に、同時に、共に喜びを分かちあうため国内26のイスラーム団体代表を招待した。その際、ムスリム協会の前会長として、私がこの受賞と協会の活動について話す機会を与えられたが、健康上の理由で出席できなく用意した原稿を会員に代読していただいた。その原稿は次の通り。尚、2024年4月22日にリヤードで開催されたこの授賞式には協会から遠藤会長、佐藤副会長、森理事が参加した。



ファイサル国王賞授賞式に出席した日本ムスリム協会の遠藤会長と
ファイサル国王賞の関係者幹部(リヤード、2024年4月22日)



授賞式に出席した協会幹部(右より森理事、遠藤会長、佐藤副会長)

アッサラーム アライクム

御臨席の皆さん、本日のファイサル国王賞・祝賀会に参加していただき誠に有難うございます。

この世界的にも評価されているファイサル国王賞には選考委員会があり、毎年各分野の専門家たちが厳しく調査して、個人または団体を選出しているとのことです。

アラブのノーベル賞と言われている素晴らしい賞に選ばれたことは大変名誉なことであり、

この国王賞を「イスラームの奉仕部門」で私たちが受賞することができたことを誇りに思います。この受賞は日本ムスリム協会が1952年に設立されて以来、約70年間に渡り諸先輩たちの努力した結果だと思います。そしてまた、ここにおられる皆様方のご支援のお陰だと思います。

以前、当協会は代々木駅近くのビル内にありましたが、イスラームへの関心が増えたため活動できる広い場所を探し、JR五反田駅近くの4階建ビルを見つけ移転しました。このビルを取得するために多額の資金を必要としましたが、会員や海外のイスラーム団体からいただいた寄付金で、2016年にこの建物を購入することができました。開館式には、海外からの支援団体であるUAE政府、トルコ政府、サウジ政府、アラブ連盟、世界ムスリム連

盟の代表者が、出席しました。国内からは、外務省、アラブ諸国の外交官、諸宗教の代表たちが参加しました。

購入したこのビルをリフォームして、日本イスラーム文化交流会館と名付けて、以後様々な活動ができるようになりました。

日本ムスリム協会の活動について簡単に説明させていただきます。会員制で、近年会員も増加し、特に若い人たちの活動が活発になってきています。

協会の活動計画と予算は、毎月開催される理事会で決められ、毎年開催される総会で決議されています。活動としては、日本人イマームによる金曜日の合同礼拝、アラビア語学講座、イスラーム・ミニ講話、ムスリマの集い、信仰と人生を語る会、婦人部や青年部主催の行事等があります。また世界平和実現を目的として設立された世界宗教者平和会議日本委員会のメンバーとして、様々な会議や行事にも参加しています。

本日の式典のために場所を提供していただいた東京ジャーミイにお礼申し上げます。思い起こせば、86年前の1938年に設立されたこの東京ジャーミイで、私たちはイスラームについて色々と教えていただきました。入信式もしていただきました。

今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げます。

ご静聴有難うございました。

日本ムスリム協会理事 徳増公明